

Communication Engine “COTOHA API” for Developers利用規約【現改比較表】 2023年8月31日現在

～2023年9月30日

2023年10月1日～

別紙1「提供機能」

本サービスにおいて以下の機能を提供する。
なお当社は個別 API の利用につき、1 日あたりのコール数上限を任意に定められるものとします。

API 機能

本サービスでは以下の API 機能を提供します。

別紙1「提供機能」

本サービスにおいて以下の機能を提供する。
なお当社は個別 API の利用につき、1 日あたりのコール数上限を任意に定められるものとします。

API 機能

本サービスでは以下の API 機能を提供します。

4	文タイプ判定	<ul style="list-style-type: none"> - 入力として日本語で記述された文を受け取り、文の法(叙述/疑問/命令)タイプと発話行為タイプを判定・出力する RESTful API を提供する。 - 入力された文が疑問文であるか命令文であるかを判断できるため、例えばロボットや対話エンジンにおける言語処理において、ユーザ発話に対する返答モジュールを適切に選択するアプリケーションに応用が可能
5	ユーザ属性推定 API (ベータ版)	<ul style="list-style-type: none"> - 入力として日本語で記述された複数の文からなるテキストを受け取り、年代、性別、趣味、職業などの人物に関する属性を推定・出力する RESTful API を提供する - 本 API は twitter におけるユーザの tweet や profile の入力を前提とするようにチューニング済み。
6	キーワード抽出	<ul style="list-style-type: none"> - 入力として日本語で記述された複数の文からなるテキストを受け取り、テキストに含まれる特徴的なフレーズ・単語をキーワードとして抽出する RESTful API を提供する - テキストから算出される特徴的スコアに基づいて、複数のフレーズ・単語が降順に出力する。 - 入力されたテキスト中の特徴的なフレーズを抽出することができるため、例えば抽出したフレーズをニュース記事のタグとして用いることで検索を容易にするアプリケーションに利用することが可能。
7	類似度判定	<ul style="list-style-type: none"> - 入力として日本語で記述されたテキストを2つ受け取り、テキスト間の意味的な類似度を算出・出力する RESTful API を提供する - 類似度は0-1の定義域で出力され、1に近づくほどテキスト間類似性が大きいことを示す。 - テキストに含まれる単語の意味情報を用いて類似度を算出しているため、異なった単語を含むテキスト間の類似性も推定することが可能。 - 例えば検索システムや FAQ 自動回答システム等の言語処理において、多様なユーザの質問に対し最も類似しているテキストや FAQ 中の回答等を抽出・返答するアプリケーションに応用が可能。
8	感情分析	<ul style="list-style-type: none"> - 入力として日本語で記述された文を受け取り、文の感情極性 (Positive/Negative/Neutral) と文中の感情語を抽出・出力する RESTful API を提供する。 - 入力された文がポジティブな文であるかネガティブな文であるかを判断できるため、例えば自社製品のユーザからの口コミやレビュー等に対して、当該製品の評価されている点や不満がある点を分析するアプリケーションに応用が可能。
9	言い淀み除去 (ベータ版)	<ul style="list-style-type: none"> - 入力として音声認識結果である日本語の文を受け取り、テキスト中の「あの」「えーと」などの言い淀みを抽出・除去する RESTful API を提供する。

4	文タイプ判定	<ul style="list-style-type: none"> - 入力として日本語で記述された文を受け取り、文の法(叙述/疑問/命令)タイプと発話行為タイプを判定・出力する RESTful API を提供する。 - 入力された文が疑問文であるか命令文であるかを判断できるため、例えばロボットや対話エンジンにおける言語処理において、ユーザ発話に対する返答モジュールを適切に選択するアプリケーションに応用が可能
5	キーワード抽出	<ul style="list-style-type: none"> - 入力として日本語で記述された複数の文からなるテキストを受け取り、テキストに含まれる特徴的なフレーズ・単語をキーワードとして抽出する RESTful API を提供する - テキストから算出される特徴的スコアに基づいて、複数のフレーズ・単語が降順に出力する。 - 入力されたテキスト中の特徴的なフレーズを抽出することができるため、例えば抽出したフレーズをニュース記事のタグとして用いることで検索を容易にするアプリケーションに利用することが可能。
6	類似度判定	<ul style="list-style-type: none"> - 入力として日本語で記述されたテキストを2つ受け取り、テキスト間の意味的な類似度を算出・出力する RESTful API を提供する - 類似度は0-1の定義域で出力され、1に近づくほどテキスト間類似性が大きいことを示す。 - テキストに含まれる単語の意味情報を用いて類似度を算出しているため、異なった単語を含むテキスト間の類似性も推定することが可能。 - 例えば検索システムや FAQ 自動回答システム等の言語処理において、多様なユーザの質問に対し最も類似しているテキストや FAQ 中の回答等を抽出・返答するアプリケーションに応用が可能。
7	感情分析	<ul style="list-style-type: none"> - 入力として日本語で記述された文を受け取り、文の感情極性 (Positive/Negative/Neutral) と文中の感情語を抽出・出力する RESTful API を提供する。 - 入力された文がポジティブな文であるかネガティブな文であるかを判断できるため、例えば自社製品のユーザからの口コミやレビュー等に対して、当該製品の評価されている点や不満がある点を分析するアプリケーションに応用が可能。

		<ul style="list-style-type: none"> - 例えば音声認識によって書き起こされた議事録などのテキストについて言い淀み除去を適用することで、認識後のデータ活用の精度向上に利用することが可能 	
10	音声認識誤り検知（ベータ版）	<ul style="list-style-type: none"> - 入力として音声認識結果である日本語の文を受け取り、音声認識結果に誤りのある個所を抽出するとともに、誤り箇所に関して訂正候補を提示する RESTful API を提供する。 - 誤り箇所は 0-1 のスコアとともに抽出され、1 に近いほど誤りの可能性が高いことを示す。 - 例えば、音声認識によって書き起こされた議事録などのテキストについて音声認識誤り検知を適用することで、人手による修正が必要な個所のみを抽出することができるため、効率的に仕上げの作業を行うことが可能。 	
			<p>附則(令和5年8月9日 CAS3サ 000400000215-01号) <u>(実施期日)</u> この改訂規約は、令和5年10月1日より実施します。</p>